学校教育目標「社会に通用し、未来を切り拓く大中生」　校訓「誠実　自主　努力」

大矢野中学校便り 令和５年度　２４号　３月２２日

大中通信

文責　校長　切通　努

大中ＨＰへ

天草パールラインマラソン大会に参加しました。

３月９日（土）を課業日として、１，２年生で午後からパールラインマラソン大会に参加しました。これまでの大会では、部活動単位でボランティアをしたり走ったりしていましたが、今回は学校として参加しました。生徒たちの希望をもとに４つのグループに分けました。運営スタッフとして受付や案内、給水などの業務を担当する「運営隊」。起業家教育の一環として、「おやつ家華音」さん「mof-mof」さん「ジラソーレ」さんと、これまでお世話になったスイーツ店とのコラボ商品や美術部渾身の自作アクセサリーの記念グッズを販売する「起業隊」、ランナーとして４．２ｋｍを走り、その前後で能登半島震災に対する募金を行った「走り隊」。手書きのボードを掲げ、バルーンスティックを持って声を枯らして一生懸命応援した「応援隊」。初めてのことでいろいろ戸惑うこともあったと思いますが、一人ひとりがしっかりと取り組んでくれました。

堀江市長や岩﨑教育長をはじめたくさんの方からとても感謝されました。閉会式のステージに上がられた参加者からも、大矢野中を名指しでほめていただきました。翌日の熊日新聞「もしもしこちら編集局」には、別の参加者の方から「何よりも感銘を受けたのは地元・大矢野中の生徒たち」と運営や応援の様子から感動されたことが寄せられました。今年度様々な活躍をしてくれた大中生ですが、今回みんなで取り組んだことが評価されたことをとてもうれしく思います。大中生が集めた募金は９万円を超えたそうです。事務局から送られ、災害できつい思いをしている人々の力になりました。教室だけでは味わえない、人に喜ばれ人を喜ばすことの大切さ、ふるさとの良さ、地域に貢献することの素晴らしさ、頑張ることの気持ちよさをそれぞれで味わうことができました。感動の卒業式の翌日に１，２年生で新たな歴史を作ることができました。

学校ホームページ随時更新中。日常の様子等をぜひご覧下さい。「大矢野中学校」で検索または上記ＱＲコードで。

生徒たちの感想から紹介します。

運営隊

・あまり地域の行事に参加することがなかったけど、今回たくさんの方とふれあうことができ地域に貢献できたと思います。

・地域でしか味わえない温かさがあって、みんなで楽しめて地元がもっと好きになりました。

・参加者の方々から「がんばります」「あなたたちも頑張って」「わざわざありがとう」と言ってもらえて元気をもらえました。

起業隊

・販売したときお客さんが笑顔になって帰って行かれたので参加して良かったと思いました。

・全部売り切れたのでとてもうれしかったです。準備などを一生懸命頑張ってきたかいがあったなと思いました。

・ものを作り、買ってもらうことの大変さを学びました。

走り隊

・地域の人が「大中生がんばれ」と言ってくれてうれしかったです。

・特にうれしかったのは一緒に走ったランナーからの「ファイト」などの言葉かけでした。

・募金では人の温かさを感じました。皆さんが笑顔で募金してくださりました。

応援隊

・ランナーが一生懸命走っているのを見て応援したい気持ちになり、声が枯れるまで筋肉痛になるまで応援し続けました。

・自分の班の１年生が最初から最後まで全力で声を出して応援していて、いいなあと思いました。

上天草高校訪問を行いました。

３月１３日に、１年生の進路学習の一環として、校区内県立高校訪問学習を行いました。上天草高校を訪れた生徒たちは、体育館で全体説明を受けた後に、３つの学科（普通科、情報会計科、福祉科）をクラスごとに参観しました。普通科（グローカルコース含む）では、授業参観として高校生が授業を受けている姿を見学しました。難しい内容に真面目に取り組んでいる姿に学ぶことも多かったようです。情報会計科では、市のパンフレット作成にも取り組んでおられると知り、実際にパソコンを操作して体験学習を行うことができました。福祉科ではパラリンピックの種目として有名な「ボッチャ」を実際に体験させてもらい、みんなで盛り上がりました。いろいろな高校に共通することや、独自のことなどを学ぶいい機会となりました。

令和５年度も大矢野中学校へのご理解ご支援、誠にありがとうございました。
令和６年度もよろしくお願いいたします。